

---

# はい！全員、土下座ア！

浅井拓美

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

はい！全員、土下座ア！

### 【Nコード】

N1427V

### 【作者名】

浅井拓美

### 【あらすじ】

主人公、天条速人はふだん人間、本当は悪魔という生物  
そいつの夢は日本征服、その夢の第一歩として国にケンカを売って  
しまった人のストーリー

## 第0話（前書き）

第0話はストーリーをいうだけ、第1話を楽しみにしてください。

## 第0話

ある学校に、一人の男子がこう、言いました。

「はい！全員、土下座ア！」

その言葉とともにたくさんの不良たちがその男子に殴りかかってきました。その男子はあざやかにその不良たちをボコボコにしてしまいました。

その男子の名前は天条速人、ふだんはふつうの高校生だが、その正体はなんと悪魔だった！！

悪魔は人を襲う。人の悪の心を食らい、それをエネルギーとして生きている意外といいやつなのである。

その悪魔というやつはさすがに、殺人犯を実行までみとどけ、実行後、その殺人犯の悪の心を食らうのである。悪の心は悪いことをした具合によって味がきまる。悪いことがひどければひどいほどうまいのである。

だが、天条速人は違う、悪の心を食らうついでに、人をボコボコにするのである。その男の夢、それは日本征服、

その夢の第一歩として国にケンカを売ってしまった！彼の運命はいかに！

次回ヒロインあらわれる！

第0話（後書き）

第15話までやる予定

**第1話、天条、銀行強盗やつつける。(前書き)**

今回から正式な連載を始めていきます。第0話見てない人、一応みてくください。

## 第1話、天条、銀行強盗やつつける。

主人公、天条速人は悪魔であるが、ふだんは人間の姿をしている。今日はひまだったので、銀行に切手を買に行った。入口で係りの人が、パンフレットをわたしていたが、天条はひまだったので、手に持つ瞬間スルーしてとらなかった。そうするとその係りの人が怒ったので大爆笑した。

「あと10分ほどしたらあなたの番になります。」

受付の人にそういわれ、5分待っていると、覆面のおっさん達10人が猟銃を持ちながら入ってきた。

「お前たちは今から人質だ！おとなく、してろよ！」

といって猟銃をおれたち待ってる人達にむける。そうすると子供たちが泣き出すが天条は違った。心の中で「サイコーに悪の心あるやつ来た」と一人喜んでいた。

5分ほどすると警察が来た

「お前らは全員包囲されてる。おとなしく出てこい。」

「そういつて出る犯罪者がいるかバーカ！」

なんて強気な銀行強盗だろうか、天条はまたうれしくなった。ふと気がついた。自分は切手を買に来たのだ。そう思うなり受付の人に

「すいませーん。10分ほどすぎたんですけどおれの番はいつですか」

今、大声で言うバカがどこにいる。天条以外の人のすべての人が思った。当然、銀行強盗は怒り

「お前バカなのか？お前自分の立場わかってるのか？ああ」

「バカで人質ですが？それがなにか？そーだいい取引をしましよ  
う」

「取引？どういう取引だ？おい！」

天条はにやりとしていった

「まず銀行の中の金をすべて奪う。そして警察に要求する。おれ

たち一人ずつ100万よこせ。おれたちというのは人質をいれてだぞ？警察といえは普通に1億よこせというより高くもらえますよ。」  
銀行強盗は目を輝かせた

「おお。すばらしすぎるアイデアだ。で、お前の要求はなんだ？」

「単純です。ぼくはもう帰りたいので帰っていいですか？お前たちをたおしてからな！」

「どういう意味だ！ぐふっ！」

バタツ、その銀行強盗の一人は倒れたしまった。

「てめっ何してんだ！！」

バキューン、猟銃の銃声が大きく鳴り、パリーンというガラスの音がなり、「キヤー」という女性の叫び声がした。

がちや、天条は消火器をもちそれを噴射した。この消火器は水ができるタイプのものである。

「はははっ。これで猟条は湿って使えないな。さてと、ボコボコにしますか。」

バキツ、ドガツ、バキツ、メキツ、ボキ。ヘンな音がしたが、銀行強盗は全員、たおれてしまった。

「よし、お前ら土下座したな。」  
単に倒れただけである。

後日、テレビで「おてがら高校生。銀行強盗やつつける。」と出たが、天条は納得がいかない。なぜあんなことをして感謝状だけなのか、むかついていたが、当然のごとく今日のクラスは天条の席に集まる。怖くなかったか？勇氣あるなと言われたが、「やろうと思えばやれる」といって寝ようと思ったが不意にかわいい女子の声でした。

「あんだ、勇氣あるわね。あんだ友達から始めない？」

まさかの逆ナン。これにはさすがの天条もビビったが、

「なんでこんな男のどこがいいんだよ！！」

うるさくてまじめぶった男がいた。

「おい、お前調子のるなよ。この人はクラスのアイドル、清水智世さんだぞ。お前みたいなやつ相手してる暇はないのだ！」

まじ、うるさい。天条思う。  
「フツ。クラスのアイドルがキミみたいな不良みたいなのと付き合う。無理じゃね」

またヘンなキザなやろうがきたぜ。天条は思うが、せめて自己紹介でもと思った。

「ぼくの名前は天条速人。お前よりいい男だぞ。キザやろう。」  
「フツ。キザやろうではない。ぼくは金沢礼二という名前があるのだからな、お前なんか清水さんはわたさん！」

「そうですか。なら、守れるなら守ってみるよ礼二さん？」  
その瞬間、天条速人の夢がひとつ増えた。（この金沢ってやろうから清水を奪い取る）という夢だ

その夢の深い意味は知らないんだが、これだけ分かる。天条は清水智世にほれてしまったのである。

**第1話、天条、銀行強盗やっつける。(後書き)**

なんと急に青春っぽくなってきました。次回、天条、恋の行方、第一部スタートです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1427v/>

---

はい！全員、土下座ア！

2011年10月9日11時14分発行